

新潟県女性センター情報 No.60

2007. 3. 20発行

地域セミナー開催報告

平成 18 年度に市町村や住民グループと共催した地域セミナーの一覧です。詳細については、財団事務局にお問い合わせください。

市町村	回	開催日	テーマ等	講師等
三条市	1	10月5日	やってみよう！メディア・ウォッチング ～見て 気づいて それから～	渡辺英美子（新潟日報編集委員）
	2	10月12日		地域セミナー企画スタッフ
	3	10月26日		地域セミナー企画スタッフ
十日町市	1	11月1日	自分らしく生きる	地域セミナー実行委員会
	2	11月8日		地域セミナー実行委員会
	3	11月22日		江口夫佐子（元長岡健康福祉事務所次長）
上越市	1	11月11日	サミット in じょうえつ記念事業 ワークショップ	櫻井陽子（横浜市男女共同参画推進協会事業本部長）他
糸魚川市	1	3月22日	ふれあい親子エクササイズ&子育て・自分育てミニ講座	水科江利子（ガレージ1主宰）

グループ名	回	開催日	テーマ等	講師等
女と男ネットワークこうげん（妙高市）	1	10月14日	思春期の心と体を一緒に考えてみませんか？	小柳信子（子育て支援カウンセラー）
	2	10月24日		瀧澤ミチ子（サークル「ひこう船」代表）
	3	11月12日		荻原佐知子（カウンセラー）
姥ヶ山自治会女性部（新潟市）	1	10月28日	自分らしくいきいきと ～中高年の心と体の健康～	伊藤千賀（(有)chikaプロモーション代表取締役）
柿崎わいわいしゃべろう会（上越市柿崎区）	1	12月9日	いまどきの健康って?? ～根っこで知っておこう！思春期や生涯を通じた健康への考え方～	堀口悦子（明治大学助教授）
刈羽村女性ネットワークの会（刈羽村）	1	1月20日	可能性のある子どもたちへ 今 大人としてできること	椎谷照美（にいつ子育て支援センター育ちの森館長）
Happy balance（新潟市）	1	1月26日	わたしの気持ちを届けるために ～はじめまして、アサーティブ～	石附幸子（アサーティブ・トレーナー）
	2	2月2日		
	3	2月9日		
子ども支援ネットワーク・ライツ（新潟市）	1	2月24日	なぜ、子どもの声が聞こえないの？	植木信一（県立新潟女子短期大学助教授）
	2	2月25日		丸田秋男（新潟医療福祉大学教授）

共催募集

新潟県女性財団では、平成 19 年度も市町村と共催の地域セミナーのほかに、住民グループとの直接共催による地域セミナーを実施します。皆さんが地域に発信したいテーマなら、地域課題、経済や法律問題、子育て、福祉、教育など何でも OK！男女共同参画社会の実現に反しないこと、営利を目的としたものでないことが条件です。財団スタッフが企画から運営までサポートします。また、講師の謝金と旅費、会場費、保育ルーム設営費用など、グループと協議の上、経費の負担も行います。共催を希望するグループは、財団事務局までお問い合わせ・お申し込みください。

また、平成 19 年度から講座の実践経験の豊富なグループを対象に、1 企画 15 万円を上限に地域セミナーの委託を行ないます。こちらを希望するグループも財団事務局までお問い合わせください。



地域セミナー

今年度、最後の地域セミナーが糸魚川市で開催されます。セミナーの詳細については、「申込み・問合せ先」へお電話ください。当財団のホームページでも詳細がご覧いただけます。

◆地域セミナー in 能生「ふれあい親子エクササイズ&子育て・自分育てミニ講座」

日時	内容・講師	会場（予定）
3/22（木） 10:00～12:00	イキイキ子育て！わくわく子育て！ 講師：水科江利子（ガレッジ1主宰）	能生保健センター （糸魚川市大字能生 1170-12）

【対象】 子育て中のママやパパ、祖父母とその子ども 【定員】 先着 20 組（ママやパパだけでも参加可）
【参加費】 無料 【保育】 あり 【〆切】 3月16日（金） 【主催】 新潟県女性財団・糸魚川市
【申込み・問合せ先】 糸魚川市能生事務所地域振興係 TEL 025-566-3111

BOOK balance

自分らしく生きたい、やりたいことをやりたい、自分を大切にしたいと思うあなたに向けて、冊子『BOOK balance ～frame をはずして、きっとあした私らしく～』を作成しました。A5 版 32 ページのオールカラーで読みやすい「男女共同参画ハンドブック」です。デザインとイラストは子育てエッセイストでグラフィック・デザイナーのちゃい文々さんです。1 冊 600 円（送料込み）で頒布しています。ご希望の方は、財団事務局までお問い合わせ・お申し込みください。

講座レポート 1

新潟県女性財団が刈羽村女性ネットワークの会と共催し、1 月に刈羽村で開催した地域セミナー「可能性のある子どもたちへ 今大人としてできること」について、団体からの報告です。

1 月 20 日（土）刈羽村生涯学習センター「ラピカ」において、にいつ子育て支援センター育ちの森の館長 椎谷照美さんを講師に迎え、講演会を行いました。

はじめに、平成 18 年度 4 月から 5 ヶ月間にわたり女性ネットワークの会で実施した「刈羽村における世代別子育て支援アンケート調査」の分析結果を参考に、会の代表者より刈羽村の女性が抱えている現状や考え方について発表しました。

その後、椎谷さんから『可能性のある子どもたちへ 今大人としてできること』と題し、多岐にわたる体験を交え講演をいただきました。大人として子どもたちに何ができるのか？父として・母として家族のあり方、子どもとのコミュニケーションの取り方などについてお話をされました。

内容は、「男は男」「女は女」という親の価値観で遊びの限定をしないこと。親が考えている遊び方と違うからといって、大人が「違う」と否定すると遊びが固定してしまうこと。しかし、子どもが考えた遊び方はそれぞれで遊びになっていて、子どもはその遊びの中から色々なことを学ぶ。無理に親の考えを押しつけてはいけなとお話がありました。また、別の話では、「子どもの声を聞く」「子どもを比べない」「ライバルを作らないこと」など、「人格を否定しない」「コンプレックスを与えない」「喜怒哀楽を大事にする」とのお話に、参加者は皆感銘を受けました。

『父親は育児や家事に関して参加が少ない』という母親の声も多く聞きます。母親も子どものことや家事についてなかなかお願いできないところもありますが、用があるときは父親にお願いし、任せることも必要だということ。多少は自分と違うところがあっても「ありがとう」と声をかけると父親は一生懸命やろうとするし、父親が試してみる余地を作ってあげてほしいとお話いただきました。

確かに母親は父親にお願いしても、自分と違うことをするとつい文句を言ってしまうところがあると思います。わかっていたようでも思わず「なるほど」とうなずく子育てについて、改めて再認識した日だったのではないのでしょうか。参加者からは、共感の声を多数いただきました。



【報告者／刈羽村女性ネットワークの会事務局 猪俣房枝】

講座レポート2

新潟県女性財団の協カスタッフの小出さんから、所属している団体「柿崎わいわいしゃべろう会」で行ったイベントの報告をいただきましたので、ご紹介します。

【上越デビュー！】 昨年 11 月 11 日、『全国男女共同参画宣言都市サミット in じょうえつ』記念事業ワークショップに旧上越市内のグループに混じり、13 区からは 唯一の参加。スキルアップセミナーの講師川端さんの「失敗は存在しない。フィードバックがあるだけ」を合言葉に、生活の中のあれ？と思うことやアクシデントを参加者にシナリオにして演じてもらい男女共同参画を考えました。シナリオ上演時間にはギャラリーも入り、演じる方も熱演。まとめを女性財団企画運営委員の五郎丸さんにしてもらいました。県内外の 32 人（男性 14 人）が参加してくれ、柿崎からは男性が 6 人参加してくれて感謝でした。ちなみに、即売、展示と全部に参加したのも“わいわい”だけでした。

【柿崎で、リプロをテーマに 100 人！】 12 月 9 日、女性財団地域セミナーを柿崎地区公民館において開催。リプロダクティブヘルス/ライツならこの方！という堀口悦子さんを講師に、リプロの概念から「14 才の母」「赤ちゃんポスト」などいま時の話題とDV、性感染症や思春期や更年期と幅広くお話いただきました。堀口さんの声は落ちついていて聞きやすく、時の経つのも忘れ、講師が心配するほどの静寂でした。「2 時間半もの話だったのに飽きなかった」「堀口さんでパート 2 をやってほしい」「他人事と思っていたが身近な話題だと気づかされた」と好評で、「テーマを絞って聞きたい」という意見もありました。講師選定・交渉も任せられ、一人でも多くに聞いて欲しいとPRに力が入りました。結果として、柿崎はもとより上越各地、遠くは燕から 100 人近くが集まり、うち男性 3 割に講師もびっくり。財団に相談しながらですが、企画運営させていただき、よい経験となりました。

【初めての有料】 2 月 3 日は恒例の『女と男パートナーワークショップ』。テーマは「…家族ってなんだろう！」。映画『蛇イチゴ』（西川美和監督）を鑑賞し、おしるこを食べながらワークショップ。そのあとは交流会と続きました。当日運営は手馴れたものです。しかし初めての有料。大人 500 円（高校生まで無料）を主催者の私達も払って参加することにしました。「お金を払って来てもらえるのか？」と言う心配は杞憂でした。結果は 190 人の参加でした。私たちの活動が認知されつつあること、毎年楽しみにしてくれるリピーターがいること、チケットを売ったので初めての方が増えたこと、反響（参加者数）が事前にわかりよかったこと、また地域の方々のエールをひしひしと感じました。

女性財団との地域セミナーに手を上げた時は小規模な学習会を複数回実施する想定でしたが、サミット記念事業に参加することになり、急遽、路線変更をしました。予定が集中してめくるめく 3 ヶ月。「わたしたちって何する会？」というという声もでました。そんな声も大切に「わいわい」話し合い、ダッチロールしながらも「いきいき暮せるまちづくり」をめざして今後も活動していきたいと思います。

【報告者／柿崎わいわいしゃべろう会事務局 小出優子】

詳細についてはそれぞれの「問合せ先」へお電話ください。

県内の情報

ポジティブ・アクションを推進している企業 ファミリー・フレンドリーな企業を募集します

【応募期間】 2007 年 2 月 1 日～3 月 31 日

【部門】 均等推進企業部門

ファミリー・フレンドリー企業部門

【応募方法】 応募用紙を厚生労働省ホームページよりダウンロードするか、各都道府県労働局雇用均等室にて入手の上、必要事項について記入し、自己採点の上、郵送または FAX にて提出してください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/>

【問合せ先】 新潟労働局雇用均等室

TEL 025-234-5928 / FAX 025-265-6420

ハッピー・パートナー企業に登録しませんか

県では、登録した企業を様々な広報媒体を通じて、県民の皆さんに広く紹介します。

【対象】 県内に活動拠点を有し、事業活動を行う企業、法人、団体

【登録要件】 次のような取組を行っている、または取組を行う意欲があること

○働き方を見直し、男女が共に働きやすい職場環境づくりの取組

○仕事と家庭・その他の活動が両立できるようにするための取組

○女性の能力を活かすための取組

【問合せ先】 新潟県男女平等社会推進課

TEL 025-285-5511 / FAX 025-280-5166

<http://www.pref.niigata.jp/seikatsukankyo/danjobyodo/danjo/>

県外の情報

第3回写真でみる女性と仕事展

第3回未来館写真コンテスト「働く女性の今」入賞入選作品展と「女性と仕事とくらし～昭和30年代の記憶～」を展示しています。詳細については、下記へお問い合わせください。

【期間】2007年2月10日（土）～3月29日（木）

【会場】女性と仕事の未来館

【お問い合わせ】女性と仕事の未来館 TEL 03-5444-4151/FAX 03-5444-4152 <http://www.miraikan.go.jp>

日本女性学会大会シンポジウムに向けた事前研究会

2007年の大会シンポジウム「バックラッシュをクィアする一性別二分法批判の視点から」に向けて、発表者を中心に、事前研究会をします。参加はどなたでも可能です。詳細については、下記へお問い合わせください。

【期日】2007年3月31日（土）10:00～12:30

【会場】国立社会保障・人口問題研究所

【発題予定】「若者のセクシュアリティと性的マイノリティー性教育バックシングの影響を考える」、ほか

【お問い合わせ】日本女性学会 TEL 047-370-6068/FAX 047-370-5051 <http://www.joseigakkai-jp.org/>

デートDV防止プログラム・ファシリテーター養成講座【前期20時間】

年に2回実際にプログラムを実施するファシリテーターを養成する講座を開催しています。DV被害者支援団体と協働で行います。詳細については、下記へお問い合わせください。

【期日】2007年6月22日（金）～24日（日）9:00～17:00

【会場】LMJ東京研修センター

【参加費】45,000円

【定員】50名 ※先着順

【お問い合わせ】アウェア TEL 03-3292-5508/FAX 03-3292-7550 <http://www.aware.cn/>

2007年全労済地域貢献助成事業の募集

全労済は創立50周年を機に、『次の50年を支える子どもたちのため、そして50年後の子どもたちに豊かな自然を残すため』をテーマに、地域の人々が助け合って環境を守る活動、及び子どもの健やかな育ちを支える活動を支援します。詳細については、下記へお問い合わせください。

【助成対象活動】A 環境分野 ①地域の自然環境を守る活動 ②地域の自然や環境の大切さを学ぶための活動

B 子ども分野 ①子育てを支援する場の活動 ②子どもの健やかな育ちを支える場の活動

【助成対象団体】公益を目的とし、日本国内を主たる活動の場とするNPO法人、任意団体等

【助成内容】①一般助成 上限30万円 ②特別助成 上限100万円 ③助成申請の対象となる費用について

【応募】応募要項・申請書は、全労済のWebサイト（<http://www.zenrosai.or.jp/eco>）からダウンロードするか、下記へご請求ください。申請書等は、全労済経営企画部内地域貢献助成事業事務局あてに送付してください。

【応募期間】2007年3月27日（火）～4月10日（火） 当日消印有効

【お問い合わせ】<環境分野>NPO法人地球と未来の環境基金 TEL 03-5298-6644/FAX 03-5298-6635

<子ども分野>（社）日本フィランソロピー協会 TEL 03-5205-7580/FAX 03-5205-7585

編集・発行／財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階／新潟県女性センター

TEL 025-285-6610 FAX 025-285-6630

E-mail balansu@cocoa.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~balansu/>

携帯電話用のホームページは、上記アドレスの後に/iをつけてください。